

日刊工業新聞(2008年10月24日)

「省エネ技術で救う」

※弊社、チェコ本社代表ミラン・グロマンの記事です。

THE NIKKAN KOGYO SHIMBUN (Published 2008.10.24)

"Save (Japan) using energy-saving technology"

上移付
置に対応
簡オフィス・ア
「ア」に建設し
器所棟と一体で、
も含め新本社工
器移転する。
ン本社工場はベン
業向けのインキ
ンヨン施設で、ク
備がなく、大型
立ては取引先の
りるなどで対応
へ。

シリコンウエハ
測定機など半導
け機器の設計、
方。08年1月期
けは約4億円だ
大型機への対応

業を強化し、2011年
1月期に10億円を目指
す。

同社は精密機械部品メー
カーで、調達資金は運転
資金に充てる。

省エネ技術で救う
▽:「日本の経済規模
はチェコの15倍。大変魅
力的な市場だ」と日本法
人(兵庫県加古川市)設
待は強い。

るチェコ企業で、大手の
自動車や鉄鋼メーカーな
ど40社へ納入実績があ
る。「日本は省エネに関
心が高いため有望」と期
待は強い。

▽:「これ
までの導入例
では5-10%
の省エネが達
成でき、2年

立の理由を明かすのはイ
ンスター・イツ・オス
トラバ社長のミラン・グ
ロマンさん。

▽:同社は燃料費削減
のためのソフトを手かけ

テラス



グロマンさん

以内投資が回収でき
た」と製品をアピール。
中欧の技術が原油高に悩
む日本をどのように救う
のか。数年後が楽しみ。
(神戸)



業人
新
工業社長)